



経営理念 私たちはみのりの精神である慈愛・奉仕・研究を基本精神とし地域・社会より愛され、認められる法人をめざし社会福祉事業の担い手として、地域・社会へ貢献します。

花のように “優しく 誠実に”

平成25年 年頭所感

「時代の変化に対応できる能力・キャパシティをもて」

理事長 大木 隆



本部 事務局長
田代重勝

ご案内のとおり、社会福祉法人は、社会福祉事業を主とした福祉サービスの供給主体の中心的役割を果たすとともに、制度の狭間にあるものを含め地域のさまざまな福祉需要にきめ細く対応し、もって社会、地域における福祉の充実・発展に寄与することをその使命としています。地域社会におけるセーフティネットを構成する社会資源として、地域に暮らす人びとに安心をもたらし、真に信頼される社会福祉法人になるためには、利用者一人ひとりの尊厳を守る良質かつ安心・安全な福祉サービスの実施とともに、多様化・複雑化する中、低所得者の支援や、既存の制度では対応できない地域の生活課題・福祉需要に即応した先駆的、開拓的な取り組みに積極的な対応が強く望まれます。

そこで、その使命を果たすため、「非営利性」等経営原則にもとづき公共的・公益的かつ信頼性の高い民間法人にふさわしい経営が求められています。

ところで、当法人では、平成21年9月より法人に隣接する国道213号線で交通安全街頭啓発活動を継続中です。これは、社会貢献（地域貢献）と言いますが、何か少しでも皆様にお役になればと考えており「職員

の総参加による交通安全運動を積極的に推進し、交通事故のない安全で快適な交通社会の実現を図ることを目的しております。春・夏・秋・年末年始の交通安全運動期間中、早朝又は夕刻に時間を決め、法人に所属する全職員が交替で街頭啓発活動を実施しております。街頭啓発スタイルは、交通安全に関する帽子を被り、タスキを掛け、幟りを持ちます。これからも、交通安全思想の普及・浸透を図るとともに、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけるため、法人として継続実施して参りたいと考えております。

今後、当法人としましては、地域のさまざまな諸課題に対し、創意工夫を図るとともに、関係諸機関と連携し、地域の人びとや社会から更に理解を得られますように引き続き各種の事業に取り組んで参りたいと考えております。

ご支援、ご協力を賜わりますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

年始の挨拶

法人本部

杵築部

日出部

高齢者福祉部

役員紹介（本部）

8P

6P

4P

3P

2P

1P

社会福祉法人の使命

87号掲載内容

法人本部

平成24年度オープン・ヴィレッジ開催

平成24年度オーブン・ヴィレッジを開催致しました。参加者の方々には、法人の紹介ビデオ、各施設職員からの体験発表、施設訪問、敷地内見学等、みのり村を身近に感じて頂きました。



広々とした敷地内を見学



説明を聞く参加者の方々

地球環境、ポリワクチン接種に協力

事業所ワーカセントー「誠」は、昨年4月、白萩園より就労継続B型の事業所として独立・開所いたしました。これまで白萩園として築き上げられてきた歴史を基に、継続することの大切さ、難しさを肝に銘じ事業に取り組んでいきたいと思います。「誠」には、花卉、有機堆肥、BDF等、造り続けられている商品があります。これらを基に新しい見方、工夫を重ねてみのり村の特産品を生み出していきたいと考えております。

原料の生産を行い加工を加え販売する。それぞれに利用者の方々の仕事の場を広げ、福祉事業所の商品としてだけではなく、他の業者にも受けを取らない「みのり村ブランド」を作り、花卉では品評会で入賞するようなこだわりを積み重ねた花等、夢は広がります。

これを実現するためには、「誠」のチークが必要となります。職員一人一人が、本当の意味のチーム力を理解し、發揮する必要があります。裏付けに基づいた支援、作業を行う為に、専門性のスキル向上に取り組み、自分之力を惜しまず出せる「誠」が必要です。私自身も全力投球してまいります。

諸先輩の方々のご指導、ご意見をいただきながら、歩き始めたワーカセントー「誠」が利用者の方々の「笑顔」でいっぱいになるよう努力していきたいと思います。

杵築障がい福祉部

ワーカセントー「誠」

支援員 尾花 孝也

白萩園施設サービス課

主任補佐 松原 恵子

第8回みのり村作品展開催

私は白萩園に配属され、もうすぐ10年になります。白萩園は現在、高齢化・重症化が進み、知的障がい者施設と一緒に持った施設になっています。そのため、10年前には想像していなかつた幅広い支援が必要とされ、支援内容も刻々と変化してきました。私の担当する方の中に、重度の糖尿病から来る様々な合併症をお持ちの利用者様がいらっしゃいます。その方の支援を通して、医療的な支援の必要性を感じています。看護師不在時には支援者で状況判断しなければならない場面も多くなり、知的障がい者施設の職員も医療的な知識や介護技術を培わなければならぬ時代であるとされています。

高度な支援力を求められる今だからこそ、支援者一人一人の支援力をつなぐチームワークが大切だと思います。私たちの仕事を、一人では難しいことも多くあり、そんな時、一人の無力をを感じると共に、それ以上に仲間の大切さを感じます。人の役に立ちたいという思いからこの仕事を選びましたが、利用者様と接していると、人としてのあり方を学んでいる様で、それは自分の成長にもつながっているのだと思付かれます。

こんなにも相手の事を考え、相手のためを思って取り組む仕事は他はないと思いません。福祉の仕事を選んでもよかったです。10年経った今、改めて感謝を感じています。これからも周りの方々への感謝を忘れず、努力していきたいと思います。

きのみフェスタで地域交流

11月17日に、障がい者が安心して暮らせる地域社会を実現するため、第八回みのり村作品展「扉を開いてください」「元気をもらいました」「心が癒された」などと手を頂きました。白萩園やワーカセントー「誠」の授産品の販売、利用者さんが毎回楽しみに参加しているクラブの作品(陶芸、絵画、機織り)展示もありました。これからも、地域の方々との交流を大切にしていきたいと思います。



「みつを」の作品で！！？



身近なもので作り上げた作品



きのみフェスタの販売風景

法人内部監査を実施

本部総務企画課では、各事業所に於いて内部監査を実施しました。内部監査は毎年実施しているもので、業務別チェック項目について活動状況を評価し、発見された問題点については、改善提案を行いました。



書類をチェックする本部職員



作業所内のチェック

年末・年始の事故ゼロ運動

ホームヘルパー2級課程 養成研修講座閉講式

平成24年度の「ホームヘルパー2級課程養成研修」が12月19日に執り行わされました。受講生16名が

終了しました。

昨年7月8日から約6ヶ月

ルパート級課程養成研修

閉講式が12月19日に執り行

われました。

受講生16名が

実習)を受講し、この度無

事修了いたしました。

今後

高齢者介護を担う人材とし

て地域で活躍することとな

ります。

受講生の皆様、大

変お疲れ様でした。

新会計基準先行実施法人として講演

大分県主催の新会計基準研修会が平成24年9月24日、県内の社会福祉法人及び関係市町村の職員約250名を集め大分県教育会館で開催されました。当日は、総務企画課長の松岡敬一が、県内の社会福祉法人に先駆けて新会計基準に移行した事例報告を行いました。報告では、新基準への移行の経緯やボイント、現状の課題等をパワーポイントを使用し詳しく紹介しました。



事例報告をする松岡課長



受講修了者の皆さん(中央は理事長)

所信表明

大分県老人福祉施設実践研究発表会

祝・菩提樹開園記念日

皆様に
おかれま
しては、
つつがな
く新しい
年をお迎
えのこと



とお慶び申し上げます。
こうしたご祝詞を申し上げ
ますと、皆様の中には「何を
香気なことを」とお思いの方
もいらっしゃるかもしれません。
ご承知の通り、昨年4
月、介護保険制度の改正に伴
い我々の取り巻く環境は大き
く変化致しました。その中で
居宅・訪問・通所介護に関わ
る職員全員大きく成長致しま
した。

今年は総合支援事業の受け
入れ、介護予防拠点の取り組み
や新しい事業の取り組み
で、今まで以上に地域福祉に
携わっていきます。互いが支
え合い、声をかけ、事業所内
外から求められる信頼ある組
織を目指し皆さんと一緒に取
り組んでいきたいと思いま
す。今一度、皆様方に更なる
お力添えをお願いいたしまし
て新年のご挨拶とさせて頂き
ます。

本年もどうぞ宜しくお願ひ
申し上げます。

菩提樹デイサービスセンター
「風と樹々と空と」
生活相談員 亀井 健一

菩提樹施設サービス課は口腔

ケア委員会が代表として発表し
ました。ご利用者への「上質で
快適なサービス」をめざすべく、

毎食後の口腔ケア
ア定期着をテーマ
の取組内容でし
たが、県大会の
発表の機会を得
たという経験、
及び発表者は実
践の成果と今後
の課題を明確に
しなければなら



実践研究発表会の様子

在宅支援課「調理技術の向上を目指して」

在宅支援課はホームヘルパーステーション「ほだいじゅ」が代表として発表しま
した。私たちちは「調理技術の向上を目指して
利用者のご要望に応えて」をテーマに、
調理支援で時間内に決められた品数が作れ
るようヘルパー全員で取り組んだ事を発
表しました。他施設やデイサービス等の取
り組みも新鮮で大変勉強になりました。



発表する阿部、土田スタッフ

9月20日（木）午後2時、
白萩園内「洗濯乾燥機」より
火災が発生したと想定し、菩
提樹も避難しました。消防署・
地区区長・民生委員・消防団等
の協力も得て、安否を連絡ルート
にて確認しました。消防隊員か
らは「避難・点呼の動作がとて
も迅速で的確



新人職員による消火訓練



杵築部全員参加で訓練に臨みます

杵築部総合消防訓練

だつた。真剣に取り組んでい
て良かった」と好評価を頂き、
全員改めて防災への意識を強
く再認しました。



ご利用者さんは御来賓として出席



決意表明をする加藤職員

10月1日、第38回菩提樹開
園記念式典が3階仏間にて行
われました。利用者様をはじ
め、参加された皆様で般若心
経をあげ、毎日元気に過ごせ
ることへの感謝の気持ちをお
詣りされました。

ユニットの加藤祐一職員より
決意表明があり、職員一同気
持ちを新たにしていました。
おやつに紅白饅頭が出て、皆
様笑顔で召し上がっていま
した。

菩提樹 施設サービス課
下地 智子
皆様にこの5年間の日々を感じ
ていただきたいと思いますが、ご
指導、ご鞭撻の程、本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます。

最後になりますが、理事長様はじめ、
皆様にこの5年間の日々を感じ
ていただきたいと思いますが、ご
指導、ご鞭撻の程、本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます。

最後になりますが、理事長様はじめ、
皆様にこの5年間の日々を感じ
ていただきたいと思いますが、ご
指導、ご鞭撻の程、本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます。



デイサービスセンター敬老会

平成24年9月15日、デイサービスホールにて、
敬老会が催されました。式典では、大木理事長
よりこれからも元気でいて下さる事を願って、
お祝いの言葉を頂きました。



いつまでもお元気で

男性育児休暇を利用して

育児休暇を頂き、生後
2ヶ月の娘と1日の流れ
を通して触れ合い、細か
な様子を見ることで、今
までよりも娘のことを深
く知ることができます。
また、妻も産後休めない
日々が続いており、育児
負担を軽減するよい機会
になりました。

0歳児の成長は一生の
うちで最も早いものだと
感じました。この時期に
育児休暇を頂いたことで、
二度とない瞬間と共に過
ごし、子育てのはじめの一
歩をしつかり歩み始め
ることができます。



育児休暇でパパも頑張りました

※男性育児休暇は大分県が平成24年度「仕事と子育て両立支援モデル企業」として5社を選定、当法人も認定企業創出モデル事業の実施企業として参加しています。男性の育児参加やワーカーライフ・バランスを推進し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

【総合福祉ケアサポートセンターみのり村】

- 障がい児から就労そして老後までの安心トータルサポート**
- 特別養護老人ホーム 菩提樹
 - ショートステイ事業
 - 菩提樹デイサービスセンター「風と樹々と空と」
 - ケアプランセンター ほだいじゅ
 - ホームヘルパーステーション ほだいじゅ
 - 配食サービス
 - 在宅介護支援センター ほだいじゅ
 - 直販所 えん(縁)
 - 白萩農園(農法)
 - 障害児入所施設 第1みのり学園
 - 児童デイサービスセンター 「プリンちゃん」
 - 障害者支援施設 第2みのり学園
 - 障害者支援施設 白百合園(女性)
 - 障害福祉サービス事業所 みのりスマイル
 - みのり障がい者生活支援センター
 - 障害者支援施設 白萩園
 - 障害福祉サービス事業所 ワークセンター「誠」
 - グループホーム みのり村
 - しらはぎ障がい者生活支援センター

心温まる
2013年
カレンダー理事会・評議
委員会の様子

今年も宜しくお願ひします。
(平成24年4月1日～
平成26年3月31日)

祝 永年勤続表彰



永年勤続表彰者の皆さん

十年表彰者	
安 部	塩 入
渡 邊	智 加
一 郎	小 石 創 太 朗
乃 基	杉 浦 八 寿 美
	渡 迎 真 也
	西 寿 美 枝
	岩 崎 孝 子
	中 井 則 夫
	後 藤 敬 子
	芳 和 則 夫
	菩 提 樹 菩 提 樹
	白 萩 園
	第 1 み の り 学 園
	第 2 み の り 学 園
	ワ ク セ ニ ダ イ 「誠」
	菩 提 樹

三十年表彰者

記念日に永年勤続者の表彰がありました。理事長より感謝状と記念品が贈呈されました。

12月10日 第61回創立

(平成24年4月1日～
平成26年3月31日)

【編集後記】

今年は巳年。届いた年賀状の巳は

愛嬌たっぷりで楽しませていただき

ました。今では鼠を見る事がありま

せんが、農家にとつて蛇は米倉を荒

らす鼠を食べてくれる有難い動物

で、古来から畏怖と共に崇拜の対象

だと言われていたそうです。子供の

ころ、蛇の脱皮した皮を財布に入れ

るとお金が貯まる」と教えられ入れ

たものの、また白蛇をみると幸運が

訪れると聞き、別府市の貴船城に友

達と自転車で坂道をこいで白蛇を見

に行つたものの、知らぬ間に遠ざ

かっていました。今年見事に丁1復

帰を果たした大分トリニータのマス

コット「ニーダン」は亀、一步一歩

の確実さと、蛇のように、地にへば

りついて這う長い体のように粘り強

く留まつていたときファンの皆さん

を楽しませてもらいたいと思いま

す。微力ながら支援金活動をさせ

ていただきました私達の願いです。

ファイト！

今年は巳年。届いた年賀状の巳は

愛嬌たっぷりで楽しませていただき

ました。今では鼠を見る事がありま

せんが、農家にとつて蛇は米倉を荒

らす鼠を食べてくれる有難い動物

で、古来から畏怖と共に崇拜の対象

だと言われていたそうです。子供の

ころ、蛇の脱皮した皮を財布に入れ

るとお金が貯まる」と教えられ入れ

たものの、また白蛇をみると幸運が

訪れると聞き、別府市の貴船城に友

達と自転車で坂道をこいで白蛇を見

に行つたものの、知らぬ間に遠ざ

かっていました。今年見事に丁1復

帰を果たした大分トリニータのマス

コット「ニーダン」は亀、一步一歩

の確実さと、蛇のように、地にへば

りついて這う長い体のように粘り強

く留まつていたときファンの皆さん

を楽しませてもらいたいと思いま

す。微力ながら支援金活動をさせ

ていただきました私達の願いです。

ファイト！

A
B
E

編集・発行／本部総務課

〒八七三一〇〇一三

大分県杵築市大字日野一九二一七
TEL ○九七八一六六一一二〇〇
FAX ○九七八一六二一九七四
URL <http://www.minourimura.or.jp/>
E-mail info@minourimura.or.jp

(写真掲載等には、ご本人様の
了解を得ております。)